

国内初の同性間性的接触によるHIV感染予防に関する 啓発センター「akta」設置のお知らせ

わが国のHIV感染は性的接触によるもの（※2002年に感染経路が判明したHIV感染者の不明例を除く約98%）を中心に増加傾向にあります。なかでも、平成14年の新規HIV感染者において同性間の性的接触によるものが半数以上を占めていること、青少年においても性感染症罹患率が急上昇しHIV感染が流行する環境ができつつあることなどが示すとおり、一般的な予防知識の啓発だけではなく、こうした個別の層ごとの実情や性的指向等に合わせた啓発を同時進行で進めることが急務となっています。

こうした状況をふまえ、厚生労働省と（財）エイズ予防財団は、NGOの協力のもと、同性間性的接触を行う人たちを対象とした啓発センター「akta」を新宿二丁目に設置することといたしましたのでお知らせいたします。

なおこの取り組みは、大阪府堂山地区に設置した同様の啓発センター「DISTA」と併せて、**公的なものとしては国内初**となります。

記

1 事業内容

「普及啓発事業」（（財）エイズ予防財団に委託）及び「同性間によるHIV/AIDS感染予防に関する研究」（厚生労働科学研究）の一環として以下のような事業を実施

（詳細については【参考2】を参照）

- (1) HIV・AIDSに関する情報提供…パンフレットなど常時設置
- (2) コミュニティ等への直接的な啓発…コンドーム配布などアウトリーチ
- (3) ワークショップ等、学習の場の提供
- (4) NGOなど関係団体の情報交換
- (5) 予防活動に関わるスタッフを対象とした研修
- (6) コミュニティへの交流の場の提供

2 所在地及びオープン時間

(1) 所在地

新宿区新宿2-15-13 第2中江ビル301号 (TEL 03-3226-8998)

(2) オープン時間

毎日16:00～22:00

〔(参考) 「DISTA」 大阪市北区堂山町17-5 巽ビル211 (TEL 06-6361-9300)
平日17:00～22:00 土13:00～23:00 日13:00～18:00〕

3 「akta」オープニング・セレモニーの実施

「akta」本格オープンを記念し、活動内容を紹介するため以下のようなセレモニーを行う。

(1) 日時

平成15年8月22日(金) 午後4時から午後10時まで

(2) 内容

① ティーパーティ

地元関係者やNGO、行政機関、出版関係者などを招いてティーパーティーを開き、今後のコミュニティ・ベースでの活動に際して円滑な連携を図るきっかけとする。

② 写真展「my first safer sex」

ゲイに限らず、若者たちの「セックスと予防」に関するメッセージを添えた写真展を開催する。(8月31日まで実施)

③ 「デリヘルボーイ」によるコンドームやチラシの配達

「akta」オープンお知らせも兼ね、二丁目内でコンドームやチラシの配布を行う。
また、コンドーム設置協力店への配達を行う。

* 「デリヘルボーイ」(DELIVERY HEALTH BOY)

二丁目のバー、ハッテン場やクラブパーティなどにコンドームや啓発用ポスターなどを配達するため、ボランティア募集により結成したチーム

4 その他

当日は取材可能です。ご希望の方は、上記担当までご一報下さい。

1 エイズ発生動向

- (1) 平成14年に報告された新たな感染者数（報告時すでにAIDS発症していた者を含む）は922件で、過去最高を示した前年（953件）とほぼ同数になるなど、発生動向は依然として増加傾向にある。
- (2) 現在の感染傾向を分析するため、新たにHIVに感染した者（報告時すでにAIDS発症していた者を除く）を感染経路別に見ると、ほとんどが性的接触によるもので、全体の86.7%を占める。但し、感染経路が不明な例を除くとその割合は約98%にもなる。そのうち、同性間の性的接触によるものは329件と、新規感染者全体の53.6%を占める。
- (3) 過去3年間の感染者（新規HIV感染者・AIDS患者）発生動向は下表のとおり。

	平成12年			平成13年			平成14年		
	HIV	AIDS	計	HIV	AIDS	計	HIV	AIDS	計
新規報告件数	462件	329件	791件	621件	332件	953件	614件	308件	922件
うち、同性間 性的接触	218件 (47.2%)	73件 (22.2%)	291件 (36.8%)	314件 (50.6%)	91件 (27.4%)	405件 (42.5%)	329件 (53.6%)	84件 (27.3%)	413件 (44.8%)

2 同性間性的接触によるHIV感染予防のための主な取組み

- (1) エイズ予防指針の策定（平成11年）

エイズ予防指針において、特別な配慮を必要とする個別施策層（青少年、外国人、同性愛者、性風俗の従事者・利用者）の一つと位置付け、人権や社会的背景に最大限配慮した施策を実施することとした。

- (2) 「同性間性的接触におけるエイズ予防対策に関する検討会」

（平成14年1月～15年3月）

対策の今後のあり方について、中間報告において、以下の4点について留意すべきと提言した。

- ア 啓発ポスター、パンフレットの製作・普及と広告媒体による啓発
- イ 予防スキルの提供とその機会の拡大
- ウ コンドーム配布と流通の拡大
- エ 検査環境の整備と医療機関との連携

(3) 上記検討をふまえての具体的施策

NGOの協力のもと、「akta」および大阪「DISTA」を拠点とした普及啓発事業（エイズ予防財団への委託事業）を今年度から実施することとしている。これは、**同性間性的接触を行う人を対象としたものとしては、国内初の取組みである。**

なお、検査環境の整備については、一般の検査希望者にとってより利用しやすい体制とするため、今年度より東京都南新宿検査・相談室において土日検査（午後1時～5時）を開始し、検査アクセスの向上に努めているところである。

***東京都南新宿検査・相談室**

・検査予約電話 03-3371-0811

・平日15時～20時（予約15時30分～19時）土日13時～17時（予約13時～16時30分）

取材については、東京都健康局医療サービス部感染症対策課（TEL 03-5320-4487）までお問い合わせ願います。

3 「akta」活動内容について

同性間性的接触を行う人たちに対する啓発の実施。詳細は【参考2】のとおり

4 今後の普及啓発の取組みについて

同性愛者の感染増加に関しては、「妊娠の心配がない」ため、コンドームの使用率が低いことが一因として指摘されている。こうした事実をふまえ、ゲイのみならずすべての性的接触による感染予防のため、引き続き「コンドーム使用の重要性」をあらゆる機会を通じて訴えるなど、積極的な普及啓発を展開していく。

なお、今年の「世界エイズデー」イベントは、個別施策層対策の重要性をかんがみ、関係NGO等に協力を求め、連携のうえ多角的に実施する予定である。

同性間性的接触による HIV 感染予防に関する啓発拠点センター・aktaについて

1 背景

わが国では、HIV/AIDS の広がりが深刻化しており、早急な予防対策が望まれています。特に東京の報告数は、平成 14 年の新規 HIV 感染者・AIDS 患者は 368 人で昨年 (376 人) とほぼ同数となり、男性同性間の性的接触による感染者・患者は 227 人と前年の 212 人を上回り、男性同性間の性的接触による HIV 感染の予防にはなお一層の具体的な取り組みが必要となっています。

現在一般を対象としたエイズの予防啓発の資材やイベントなどは数多くありますが、多くの場合はヘテロセクシャルを前提とした枠組みで行われるため、さらに多くの MSM* に対してより直接的なメッセージを伝えていく必要があります。

そこでこのたび (財) エイズ予防財団の普及啓発事業 (厚生労働省委託事業) のひとつとして、ゲイ・バイセクシュアル男性の多くが集う新宿 2 丁目に、HIV 感染の予防や感染者・患者の支援に関する情報発信、情報交換、啓発資材の普及を積極的にはかる「コミュニティセンター」akta が開設されることになりました。

akta の新宿二丁目での開設によって、コミュニティーベースでの予防啓発・支援活動を促し、ゲイ・バイセクシュアル男性の人々の健康問題に貢献することを目的としています。

*MSM・・・Men who have Sex with Men の略。男性同性間の性的接触を行う人を指す。

2. 活動内容

(1) 情報提供の場として

ここでは特に MSM を対象に書かれた HIV/AIDS に関するパンフレットを用意し、自由に持ち帰れる情報提供の場としての機能を果たします。在京の NPO、NGO、行政等が作成しているリソース (HIV/AIDS の基礎情報、医療機関や検査機関、セーファーセックスについての小冊子など) を提供する事で、予防やケアに役立つ場とします。

(2) アウトリーチ (コミュニティー・街頭への直接的な啓発) の拠点として

街頭や商業施設に対するコンドーム配布プログラム

現在、プロジェクト「Rainbow Ring」が、既存団体 (AIDS ケアプロジェクトや Pro-com) や二丁目振興会と協働し、街頭や店舗でのコンドーム配布計画を進めています。すでに配布員のリクルートやオリエンテーション、二丁目振興会加盟店約 140 店舗との協働について Pro-com、AIDS ケアプロジェクトとともに進めています。

(3) 学習の場として

ゲイコミュニティの人たちに向けた HIV/AIDS のワークショップの場
新宿二丁目に集う人たちを対象とした、ワークショップの場として活用します。
既存の NPO、NGO 団体等からワークショップや啓発活動の場に活用していただけるよう、受付、日程調整等の準備をしています。当面、毎月 1 回、セックスと予防について語るワークショップを計画中です。

(4) MSM の予防・支援活動に取り組む NPO・NGO の情報交換の場として

予防啓発や感染者・患者の支援にかかわる HIV/AIDS の NPO、NGO 団体のミーティングの場として活用していただき、情報交換の場としていきます。

(5) 予防活動のスキル向上のための研修の場として

予防活動をより効果的に行っていくために、それに関わるスタッフのための研修の場として活用します。現在、予防ワークショップに取り組む 10 代後半～20 代前半の若者に向けた、スキル研修を行っています。

(6) ハッテン場等の商業施設と連携した啓発活動の拠点として

平成 14 年から、ハッテン場にコンドームや啓発資材の提供を行う活動を「Rainbow Ring」が行っています。これからもハッテン場経営者、従業員の方たちと相談しながら HIV 感染予防啓発を進めたいと考えています。

(7) コミュニティーへの交流の場として

コミュニティーの人々に *akta* の存在を知られ親しまれるようにするためにはコミュニティーでへの働きかけが必要不可欠です。ゲイシーンで活躍する人たちのアート作品展示の場・アート展などを行う事で、そこに集う人たちが予防の啓発資材にふれ、予防を意識化する事を目的としています。

上記の計画を進めていく事で、*akta* が HIV/AIDS の予防やケアなど、様々なニーズに応じ、感染を防止する場としての役割を果たしていきます。

3 所在地・連絡先

東京都新宿区新宿 2-15-13 第 2 中江ビル 301 号

(東京・新宿 2 丁目仲通り、ショップ「ルミエール」斜め向かい)

電話/FAX (03) 3226-8998 (受付日時：毎日 16 時～22 時)

代表者：佐藤 未光 (予防プロジェクト「Rainbow Ring」代表)

事務局員：今井敏幸、張 由紀夫

* 活動内容等についての問い合わせは、上記までお願いします。